

## 地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 19 年 12 月 4 日
事業所名	グループホーム虹の家
ユニット名	
事業所番号	2372600979
記入者名	職名 管理者 氏名 大岩次子
連絡先電話番号	0533-84-7808

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誠意のある質の高い介護</li> <li>・穏やかで安らぎのある暮らし</li> <li>・和をもってお互いを尊重する豊かな心</li> </ul>	常に意識してスタッフ全員が心掛けている
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念は施設の玄関・応接室に掲示している。</li> <li>・実習生に施設説明に理念の話をする。</li> </ul>	楽器・折り紙・気功・手伝い等のボランティアの方が来所している。
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議を通して地域への理解を深める</li> <li>・家族には施設説明時に話をする</li> <li>・玄関・応接室に掲示している</li> </ul>	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の行動案内のチラシを近隣に配る</li> <li>・近隣住民の施設防火訓練参加</li> <li>・気軽に積極的に挨拶している</li> </ul>	自然と触れ合うためにも外出（散歩）は必要なので心がけている。
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会・地区文化祭の参加</li> <li>・地区運動会の見学</li> </ul>	楽しみを持っての生活におおいに役立っているので、参加可能な場には出かけている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・施設の行事参加への声掛けをしている		気軽に行事に参加していただけるように考えていきたい
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・評価の中でやるべきことについては改善できている		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議の話し合いで地域行事への参加がスムーズに行えるようになった		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・疑問点、わからない点がある場合は市担当者に尋ねるようにしている		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度についての学ぶ機会を持っていないが必要に応じて家人には説明している		スタッフ全員が理解できるように学ぶ機会をもっていきたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待をしている事実はない		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明をした上で要望や不安点を尋ね、理解して納得できるように話をさせてもらっている</li> </ul>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が不満などを言ったときは、いつでもスタッフが受け止めるようにしている</li> <li>・月1回の会議でスタッフ全員に意見を求め反映できるようにしている</li> </ul>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の初めに送る郵便物の中に入居者の様子、預かり金の出納帳のコピーとレシートを送っている</li> <li>・面会時にも様子を報告している</li> </ul>	<p>担当スタッフが家族と信頼関係を持てるような関わりを大切にしている</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族とは気軽に意見・要望がある時は出してもらうように声掛けをしている</li> <li>・意見・要望がある時は反映されるようにスタッフ全員が対応している</li> </ul>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時意見がある時は話し合い、反映できるように努めている</li> <li>・月1回のカンファレンスやその他の状況に応じて話し合っている</li> </ul>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等に合わせ勤務調整ができている</li> <li>・家族の状況に応じて病院受診の支援をしている</li> </ul>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・異動がある時は本人に説明して了解を得るようにしている		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・研修を受けたスタッフはカンファレンスで発表をし、全てのスタッフが知識を共有している		
20 同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・わからない事があった場合は相談をし、サービス向上に取り組んでいる		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・全スタッフで食事会をする機会をもっている ・誕生日に花又はケーキをプレゼントしている		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・施設行事に担当者を決めて任せている ・入居者担当にて薬・衣類・オムツなど全てについて受けもっている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・家族との会話の中で本人が何を求めているのかを理解し、直接本人の口から出た言葉を大切に受け入れるようにしている</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・本人の立場でより良い介護ができるように話し合うようにしている</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・施設として要望に対応できるように努めている</p> <p>・他のサービスについては必要時に対応している</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・施設に対して抵抗ないように家人と共に昼食を一緒に食べてもらい、雰囲気味わってもらう事もしている</p>	自由に施設見学をすることができる
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・毎日の生活の中で掃除、洗濯物干し、野菜作りなどをスタッフと共に行っている</p> <p>・食事作りに参加したりしている</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院受診など施設と家人が連絡を取り合っている</li> <li>・家族とのコミュニケーションをしっかりと気持ちよく生活できるように支援している</li> </ul>		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況変化のあった場合は連絡をしている</li> <li>・病院受診、外出、外泊など家族とのコミュニケーションを大切にしている</li> </ul>		入居者の要望は家人に伝え対応してもらうようにしている
30	馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元での敬老会に参加している</li> <li>・知人・友人などが面会に来所されている</li> </ul>		
31	利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除、洗濯物干し、たたみ、食事の準備、片付けなど本人の出来る事をしてもらっている</li> </ul>		孤立しないようにスタッフが声掛けをしている
32	関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会う機会があった時に様子などを気軽に尋ねたりしている</li> <li>・他の施設に移った方へも顔を見に行ったりしている</li> </ul>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・入居者本人の思いや意向についてはスタッフ全員が共有し取組んでいけるように努めている</p>	<p>本人の訴えがあった時は話をよく聞き、その都度対応できるようにしている</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・入所時の記録物を読みスタッフ全員で対応 ・カンファレンス、申し送りで把握している</p>	<p>家人のかかわりを深めて情報をもらっている</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・状態の変化、言動の変化などがあつた時に見落とさないようにスタッフ間で連絡しあっている ・毎月のカンファレンスで担当スタッフが報告している</p>	<p>毎日の生活の中で生活リハビリを取り入れている</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・毎月のカンファレンスにて担当スタッフより出される課題について全スタッフで意見を出し合っている ・家族からの要望について組み入れる方向で全スタッフで話し合っている</p>	<p>残存機能を活用できるように意見、アイデアを出し合い介護計画に反映させている</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・サービス担当者会議にて対応している ・現状に応じてスタッフ、家族を交えて話し合い新たな計画を作成している</p>	<p>入居者の異変についての報告から介護計画の見直しをしている</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録物だけでなく申し送りにて気づきの点についての情報を伝えている</li> <li>・共有している情報に基づいてケアに取り組んでいる</li> </ul>		個人の記録と連絡ノートにて全スタッフが同じ方向でケアに取り組み、介護計画の見直しに活かしている
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の要望に応じて支援している</li> <li>・入居者の状況に応じて必要なケアをしている</li> </ul>		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練、防火訓練の実施</li> <li>・折り紙、気功、話し相手、調理補助などのボランティアに協力を得ている</li> </ul>		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険以外のサービス支援をしている</li> </ul>		介護用品チケットの活用を行っている
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の委員として協力を得ている</li> </ul>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入居時に本人、家族が希望する医師がある場合は継続的に受けれるよう説明している		希望するかかりつけ医がない場合は施設の協力病院としている
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・かかりつけ医、協力病院との信頼関係を築きながら個別支援を行っている		施設・家族と協力しながら受診している
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・入居者の状態にて家人が訪問介護ステーションに依頼している ・日常の健康管理はスタッフが支援している ・スタッフの一員に看護師がおりアドバイスを受けている		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・入院中での様子は家族から受けている ・退院については家人からの連絡にて受け入れをスタッフ全員で取り組んでいる		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・レベル低下についてはサービス担当者会議などで家人に伝え話し合っている		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・重度化や終末期の利用者はいないが対応として家族と医療関係者と話し合い支援していく方針である		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居 所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケ ア関係者間で十分な話し合いや情報交換を 行い、住み替えによるダメージを防ぐこと に努めている	・今まで施設にいた時に情報を伝え、これからの 暮らしと変わらないように働きかけてもらう		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ね るような言葉かけや対応、記録等の個人情 報の取り扱いをしていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者個人のプライバシーについてはスタッフ 間のみで共有していること</li> <li>・個人情報は外部に出していない</li> <li>・プライバシーは守れている</li> </ul>		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよ うに支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事メニューの希望を毎月出してもらい食事に 出している</li> <li>・食事の買い物にスタッフと同行している</li> <li>・喫茶店に行く</li> </ul>		
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切にし、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩に他の入居者、スタッフと出かける</li> <li>・食事の買い物にスタッフと出かける</li> <li>・洗濯物干し、たたみ、掃除など個人の意志でス タッフと共に行っている</li> </ul>		散歩コースは個人にあわせ満足してもらうように 心がけている
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれがで きるように支援し、理容・美容は本人の望む 店に行けるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣類、化粧品などの買い物は本人の気に入るも のを購入している</li> <li>・美容師による施設内でのカットや美容院でのヘ アカラーをする人がいる</li> </ul>		本人の希望を家族に伝え安心感を持ってもらうよ うにしている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間ごとのトイレ誘導や本人の行きたい時に排泄介助している</li> <li>・パッドの汚染確認をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄チェック表を記入している</li> <li>・個人に合わせたパンツ・パッド・オムツを使用している</li> </ul>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴の日は決まっているが本人希望で毎日入浴している人もいる</li> </ul>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の状況にて自由にベッドで休んでもらうようにしている</li> <li>・本人のリズムを大切にしている</li> </ul>	<p>夜間安眠のため日中の過ごし方を調節している (昼寝)</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の掃除、洗濯物干し、たたみ、食事の手伝いなどを自主的又は声掛けにて行ってもらっている</li> <li>・裏庭の畑で作っている作物を利用者が楽しみにしている</li> <li>・喫茶店に出かけ気分転換を図っている</li> </ul>	<p>本人の好むことを情報収集し楽しみを反映している</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・個人の買い物は施設預かり金の中から本人が買うようにしている		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・スタッフと利用者で散歩、買い物、ドライブに出かけている ・入居者の希望による外出は、天気、スタッフの体制でいけない場合もある		
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・外出は家人とはいつでも自由に可 ・友人、知人は家族の許可があれば可		家人との外出以外で本人希望を尋ねる機会を持ちたい
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・季節の手紙、電話は希望時に対応している ・年賀状、暑中見舞いのハガキなどを支援している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・朝の早い時間、夜の遅い時間以外は自由に訪問可 ・フロア、居室を自由に使って頂いている ・昼食時、夕食時、おやつ時などで都合がよければ一緒に食べてもらう ・声掛けは必ずしてコミュニケーションをとっている		本人、家族の希望で居室に入る時もある
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束は全くしていない		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室に鍵はない</li> <li>・玄関の鍵については入居者が不穩で1人で外に出て行く回数が多いときに安全の為にかける時もある</li> </ul>		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室に入る時は、ロックや声掛けをしている</li> <li>・申し送りで利用者の状態を説明している</li> <li>・夜間はフロアから居室出入り口まで見通せる場所にスタッフがいます</li> </ul>		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カミソリ、爪きりなど刃物は施設で保管</li> <li>・薬類（服薬、塗り薬、貼り薬）は施設で保管している</li> <li>・入居者の状態に応じ危険な物は置かないようにしている</li> </ul>		見守りをしっかり行い安心、安全に暮らせるように支援している
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ間で利用者の状態を共有している</li> <li>・服薬はスタッフが確認している</li> <li>・常に事故を未然に防ぐように心掛け目配りしている</li> </ul>		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡網にて他のスタッフに連絡</li> <li>・救命講習をスタッフ全員が受けている</li> <li>・年間計画を取り入れている</li> </ul>		定期的に応急手当の方法を学んでいきたい
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練実施のチラシを近隣に配る</li> <li>・集合場所を決めている</li> <li>・地域の人々の参加を呼びかけている</li> </ul>		日頃の基本的な行動から安全第一に心がけたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状態変化がある場合、家人に変化の様子等を連絡する</li> <li>・対応策については家人の理解を得る</li> <li>・起こり得るリスクを家族に説明している</li> </ul>		担当スタッフが責任を持って状況説明が出来るようにしている
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ間での申し送りを大切にしている</li> <li>・スタッフは家人に連絡をして病院受診する</li> <li>・バイタルチェック</li> <li>・いつもと様子が違うときは、すぐに家族に報告をし対応している</li> </ul>		記録を残し全スタッフで共有している
74	服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬は施設管理</li> <li>・スタッフの声掛けにて服用し、確認をしている</li> <li>・個人の薬カゴが全入居者分ある</li> <li>・全スタッフが薬の確認が出来るようになっている</li> </ul>		入浴時に使用している塗り薬は責任を持って記録を残している(状態変化など)
75	便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄チェック表にて毎日確認している</li> <li>・食事、散歩、体操などでは対応策を考えている</li> <li>・病院の下剤を服用している</li> </ul>		食事で繊維質の多いものを取り入れていきたい
76	口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食後は口腔ケアを実施している</li> <li>・義歯は夜間ポリドントにつける</li> <li>・歯ブラシは週1回消毒している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔保持から手洗いなどのタオルは個人のものを使っている</li> <li>・毎食後の義歯洗浄</li> </ul>
77	栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月体重チェックをしている</li> <li>・1日3回の食事で献立を工夫している</li> <li>・食事、おやつ以外にも水分摂取の声掛けをしている</li> <li>・水分量の必要がある場合は記録に残している</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事は個人に合わせた分量にしている</li> <li>・食後の水分補給は大切にしている</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症のファイルを常時見ることが出来る</li> <li>・うがい、手洗いを施行している</li> <li>・ペーパータオル、手指消毒剤を使用</li> </ul>		食事前の手洗い、消毒、外出後のうがい、手洗い
79	食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食器乾燥機を使用</li> <li>・消毒スプレー</li> <li>・食材の買い物は毎日出掛けている</li> <li>・布巾、まな板の消毒</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場の食品の扱いに注意し食中毒に努めている</li> <li>・食材にはしっかり火を通して</li> </ul>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三枚引き戸で広く開くので車椅子での対応が行いやすい</li> <li>・玄関アプローチ、スロープ沿いに植木や鉢植えがある</li> <li>・スロープと手すりの設置で安全に出入りできる</li> </ul>		スロープには手すりがあるが、階段にはないので考えていきたい
81	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花を飾ったり、季節に合った工作物を掲示している</li> <li>・利用者、スタッフが共同で作品を作り飾り付けをしている</li> </ul>		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビをフロアと畳コーナーに設置している</li> <li>・畳コーナーで横になったり座いすに座ったりしてくつろぐ事ができる</li> </ul>		入居者が安心していられるように把握し、行動している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	・入居時に今まで使用していたベッド、タンス等 を持ち込むよう説明している ・個人の今までの生活様式に合わせて居室に家具 を用意してもらうようにしている		本人、家族の希望を取り入れている
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	・換気扇、エアコンの定期的清掃 ・フロア、居室はエアコンにて温度調節 ・利用者の要望に応じてスタッフがリモコン管理 ・トイレは常に換気状態にしている		・外との温度差に配慮している ・冬は喚起を重視している ・温度調節はこまめに行っている
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	・玄関バリアフリー ・フロア内、壁に手すりがある ・トイレ、風呂に危険時のプザーを設置している ・残存機能を活用できるように促している		・活動時にはスタッフが声掛けをし見守っている ・ポータブルトイレの必要な入居者は居室に設置 している
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	・トイレ、風呂場の戸に大きくわかるように貼り 紙をしている		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	・近隣へ散歩に出掛けている ・裏庭に小さいが畑があり苗を植えたり実った作 物を取りに行ったりしている		テラスへの出入り口に手すりがあれば、動きが安 全になるので考えていきたい

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・毎日の食事は入居者の要望を取り入れている
- ・本人、家族の要望を取り入れながらケアをしている
- ・1日3食の食事は手作りで楽しみながら作っている
- ・入居者個人の状態に合わせた支援をしている(排泄、入浴、食事)